

ビーだま

ビーだまのように、キラリと光る一冊を

2020年1月～12月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介ししょうかいます

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
令和3年4月23日発行（年1回発行）



ライラックのワンピース

小川雅子／作 めばち／絵 ポプラ社



サッカークラブで大活躍するトモには、友だちには言えない秘密ひみつがありました。それは裁縫さいほうが大好きで、家族から裁縫少年と呼ばれていることです。

その秘密を同い年のリラに知られてしまい、ワンピースの仕立て直しをたのまれました。けれど、サッカーの大切な試合がせまっています。なやんだトモは、サッカーをあきらめて、初めての仕立て直しにチャレンジします。

おじいちゃんとの最後の旅

ウルフ・スタルク／作 キティ・クローザー／絵 菱木晃子／訳 徳間書店



入院中のおじいちゃんは、怒りっぽくて汚い言葉ばかり言うので、パパはお見舞いに行こうとしません。でも、ウルフはおじいちゃんが大好き。亡くなったおばあちゃんと住んでいた家に行きたいというおじいちゃんのために、ウルフは両親にうそをついて、おじいちゃんを病院から連れ出すことにしました。



ジャンプして、雪をつかめ！

おおぎやなぎちか／作 くまおり純／絵 新日本出版社

5年生の冬、両親が離婚して唯志は、東京から青森の小さな町に引っこすことになりました。

母と二人きりの生活。家はボロくて、おまけにぼっとな便所。次々と降る雪に、小さな家は押しつぶされそうです。唯志は、雪国での新しい生活にとまどいますが、同級生や母の友人から助けの手が差しのべられます。



まじよ 魔女ラグになれた夏

蓼内明子／著 PHP研究所



三姉妹の末っ子の岬は、自己主張が苦手。反対に次女で高校生の富美は、自分の思ったとおりにすぐ行動します。このごろ富美の様子がなんだか変です。食事中、お父さんに反発したり、バイトがしたいと言い出したり。

岬は、富美が家出を計画していることに気が付きますが、誰にも言い出すことができません。

フレンドシップウォー こわれたボタンと友情のゆくえ

アンドリュー・クレメンツ／著 田中奈津子／訳 講談社



おじいちゃんからもらった箱には、色とりどりのきれいなボタンがぎっしり。グレースがそれを学校へ持って行くと、クラスのみんが欲しがります。次の日から、校内のあちこちでボタンの交換会こうかんかいが行われ、全校生徒を巻きこんだブームが起こります。ところが、グレースは親友とボタンをとりあってケンカをしてしまいました。

おいで、アラスカ！

アンナ・ウォルツ／作 野坂悦子／訳 フレーベル館

授業中、スフェンがてんかんの発作でたおれ、お母さんが介助犬かいじょけんを連れてむかえにきました。パーケルは、その介助犬が、かつて可愛がっていたアラスカだと気がつきます。

病気のせいでイライラしてアラスカにつらく当たるスフェンを見て、パーケルはアラスカを取りもどそうと決意しました。そして、真夜中にスフェンの家にしのびこみます。



キャンドル

村上雅郁／作 フレーベル館



螢一けいいちは、突然知らない女の子の記憶を体験します。大切な友達を傷つけ後悔している思いにとまどい、少女について調べ始めました。女装を貫く親友の翔真しょうまと真相を追ううち、翔真が別の中学に進学すると知ります。自分らしくいたい翔真を知らずに追いつめていたと気づいた螢一けいいち。その気持ちと少女たちの日々がリンクしていきます。

シェリー・ピアソル／作 斎藤倫子／訳 偕成社



仲間にまきこまれ、主人の家を脱走するはめになった黒人奴隷の少年サミュエル。この時代、つかまれば想像を絶する罰が待っていました。初めはいやいやにげていましたが、生き別れの母と会えるかもという希望が足を前へと進ませます。ところが、自由の国カナダ行きの船に乗りこむ直前、とうとう追っ手につかまりそうになります。

橋の上の子どもたち

パドマ・ヴェンカトラマン／作 田中奈津子／訳 講談社

インドで貧しい暮らしをしていたヴィジは、父親の暴力にたえきれず、障害を持つ姉のラクを連れて家を出ました。

ねる場所を探していると、使われていない橋に住む二人の少年に出会います。ヴィジとラクは、彼らと一緒に橋に住み、わずかな食べ物を分けあってなんとか生きていきます。そんな生活でもヴィジには、先生になる夢がありました。



かいこ お蚕さんから糸と綿と

大西暢夫／著 アリス館



つやつやとした美しい絹糸。それは、蚕が作る繭から糸を取り出してつむいだものです。そして、繭をうすく伸ばしてたくさん重ねたものを、真綿とよびます。

西村さんの家は、一万頭もの蚕を育てて繭から糸をとる、今では数少ない養蚕農家です。

養蚕農家の一年間を写真でしようかいたします。